

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島慎二郎

2024年4月号

定額減税が襲来します

定額減税はややこしい

定額減税をご存じでしょうか。物価上昇著しい中、減税といえば歓迎すべきものに聞こえますが、手続きが異様に複雑です。

定額減税は、本人と同一生計配偶者及び扶養親族の1人につき3万円が減税される制度です。ただし、令和6年分の合計所得金額が1,805万円（給与のみの方は年収2,000万円）を超える人などは定額減税を受けることはできません。いつもどおり、制限付きの減税措置となっています。

（なお、所得税3万円だけでなく住民税1万円を加えた計4万円減税するのが定額減税となりますが、住民税に関しては今回は割愛します）

まず対象者の把握が必要

減税額は対象×3万円となりますので、まずは対象となる「本人」「同一生計配偶者」「扶養親族」の人数を把握していくことになります。

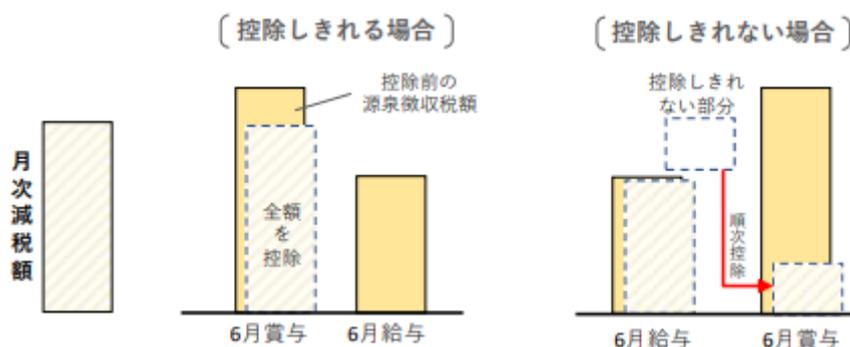
「本人」（控除対象者）は、給与の支払者に扶養控除等申告書を提出して令和6年6月1日現在で在職している人（源泉徴収で甲欄の人）となります。本人と生計一の配偶者のうち、合計所得金額が48万円以下の人が「同一生計配偶者」です。「扶養親族」には16歳未満の扶養親族が含まれることにも要注意です。16歳未満は所得控除の対象にはならないのですが、今回の定額減税では人数にカウントできるのです。所得控除にならないがゆえに申告されていない場合もあるので、扶養控除等申告書とは別に、定額減税のための申告書を提出してもらい人数確認をすると無難です。



手続きの流れ

これらによって把握した人数の合計×3万円が、（月次）減税額となります。定額減税は、毎月給与等の支給時に差し引かれる源泉所得税を減額する形で

行われます。令和6年6月以降の給与・賞与で発生する源泉所得税から控除されていき、1か月で控除しきれない場合はまた翌月の源泉所得税から控除されるという流れです。



では、この控除する金額や翌月に繰り越す金額を各個人別に把握するのは誰でしょうか？それは、国や市区町村ではなく、給与支払者です。国税庁からは減税履歴を記録するための「各人別控除事績簿」や対象人数把握に用いる「定額減税のための申告書」等のエクセルを公開していますが、これらを利用しつつ会社や事業主がやらなければなりません。だから大変なのです。

さらに年末調整で精算

このようにして月次減税事務を行うのですが、年末になって同一生計配偶者の所得が48万円の制限を超えた場合など、減税額の調整が必要な際には、年末調整で精算することになります（年末調整事務）。

「それなら年末調整だけやればいいのか？」と思った鋭い方もいらっしゃるでしょう。しかし、制度的にはそうはいかず、6月の月次減税事務の段階で確認した人数に基づき減税事務を行っていかねばなりません。

たとえ年収が2,000万円を超えることが確実に見込まれる場合においても、月次減税事務は行わなければならないとされており、この制度設計には疑問を感じずにはいられません。



大変なのは給与支払者

繰り返しになりますが、この手続きを行わなければならないのは会社や事業主といった給与を支払う人たちです。国からこの複雑な手続きを押し付けられたといえます。残念ながら今年度税制改正で3月末に決定されてしまい開始される6月も迫ってきておりますので、対象者の確認、給与システム対応の確認など準備を進めていきましょう。（文章 石島慎二郎）

豊洲千客万来

(文章: 若田純一郎)

☆インバウン井☆

たまには贅沢して、高くて美味しくて外国人観光客に人気の井物でも食べたい。

ということで、たまたまピッタリ条件に当てはまった最近話題のインバウン井を目指して、2024年2月1日開業の豊洲千客万来に行ってきました。

付度なく、味をしっかりと伝えできればと思います。



☆豊洲千客万来とは☆



私のポリシーは、ただ食べるだけではなく、その食べ物、その場所に込められた思いごと味わうこと。

ということで、豊洲千客万来とは、どういう場所か調べました。

「築地特有の貴重な財産である賑わいを継承・発展させると共に、豊洲市場本体施設と連携し豊洲ならではの活気や賑わいを生み出すことで、豊洲市場の魅力を高めつつ、地域のまちづくりや活性化に貢献することを目標としています。」と書いてありました。

なるほど・・・込められた思いが立派すぎて、私ごときが簡単に味わえるものではなさそうなので、今日は大人しくインバウン井だけ食べて帰るとします・・・

☆施設のご案内☆

施設内は意外と広く、たくさんのお店がありました。

少しだけご紹介いたします。

①豊洲目抜き大通り

江戸時代にタイムスリップしたような街並みが楽しめます。





寿司やうなぎなど、江戸前の食が楽しめる飲食店街や、地元江東区で人気の店舗が並ぶエリアとなっています。

②目利き横丁

こちらは屋内に入ったところになります。雨が降っても大丈夫。

仲卸が目利きした新鮮な旬の食材や珍味を、食べ歩きやカウンターで楽しむことができ、各店舗から食欲をそそる香りが漂う食の賑わいを体感いただけるエリアとなっています。

③千客万来足湯庭園

8階には、豊洲の景観を一望できる千客万来足湯庭園があります。なんと無料。歩き疲れたときに一休みできます。

④浮世絵販売コーナー

アダチ版画研究所による浮世絵の展示販売を行っています。一枚一枚職人の手仕事により丁寧に作られた、復刻版「浮世絵」があります。

☆インバウンド丼の洗礼☆

いよいよ、目的を果たすときがきました。

お値段が高いことはテレビで存じ上げておりますので、財布を握りしめ、いざメニューを拝見。

え・・・18,000 円・・・頑張って貯金してまた来ます・・・

とりあえず、メニューを記念撮影し、しょんぼり歩いておりましたら、卵焼き 300 円！！

この値段が一番落ち着く・・・



ということで、即購入して、千客万来の思いとともに味わいました。

他にも美味しそうなお店がたくさんありましたので、興味ある方は 2 万円握りしめて、行ってみてはいかがでしょうか。

